

情報収集⑤

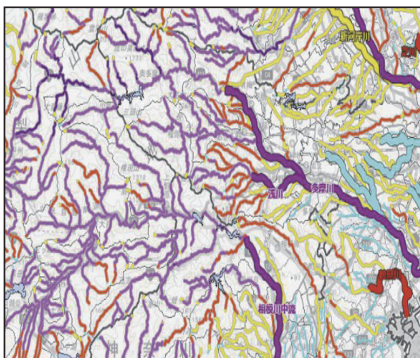
《洪水キキクル》

洪水キキクル(洪水警報の危険度分布)は、指定河川洪水予報の発表対象でない中小河川(水位周知河川及びその他河川)の洪水害発生の危険度の高まりを、地図上で概ね1kmごとに5段階に色分けして示す情報です。常時10分毎に更新しており、洪水警報等が発表されたときに、どこで危険度が高まっているかを把握することができます。危険度の判定には3時間先までの流域雨量指数の予測値を用いています。

洪水により命に危険が及ぶ場所では、河川の水位情報等を確認し、速やかに避難開始を判断することが重要です。(P18 避難行動判定フローを確認しましょう。)



洪水キキクルの例



3時間先までの予測



色が持つ意味	住民等の行動の例 ^{※1,2}	相当する警戒レベル
極めて危険	流域雨量指数の実況値が過去の重大な洪水発生時に匹敵する値にすでに到達。重大な洪水害が すでに発生している おそれが高い極めて危険な状況。	— ^{※5}
非常に危険	水位周知河川・その他河川がさらに増水し、今後氾濫し、重大な洪水害が発生する可能性が高い。 水位が一定の水位を越えている場合には速やかに避難を開始する。 ^{※3}	4相当
警戒(警戒級)	水位が一定の水位を越えている場合には避難の準備が整い次第、避難を開始する。 ^{※4} 高齢者等は速やかに避難を開始する。	3相当
注意(注意報級)	ハザードマップ等により災害が想定されている区域や避難先、避難経路を確認する。今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に注意。	2相当
今後の情報等に留意	今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意。	—

※1 自治体から避難指示(警戒レベル4)等が発令された場合や河川管理者から氾濫危険情報等が発令された場合には速やかに避難行動をとってください。
 ※2 洪水予報河川の外水氾濫については、洪水警報の危険度分布ではなく、河川管理者と気象庁が共同で発表している指定河川洪水予報等を踏まえて避難指示等が発令されますので、それらに留意し、適切な避難行動を心がけてください。
 ※3 その他河川では水位を観測していない河川がありますので、その場合は、早めの避難の観点から、速やかに避難を開始することが重要です。
 ※4 その他河川では水位を観測していない河川がありますので、その場合は、避難の準備をしてからの避難を心がけてください。
 ※5 技術的な改善を進め、警戒レベルに相当する「黒」を新設する(令和4年度予定)までの間、「極めて危険」(濃い紫)を大雨特別警報が発令された際の警戒レベル8緊急安全確保の発令対象地域の絞り込みに活用することが考えられます。

《出典：気象庁ガイドブック 2022》

《キキクル(危険度分布)の通知サービス》

土砂災害や洪水等からの自主的な避難の判断に役立てていただくために、危険度が高まったときにメールやスマートフォンアプリでお知らせするプッシュ型の通知サービスを、気象庁の協力のもとで、5つの事業者が開始しました。*

この通知サービスでは、登録した地域のいずれかの場所で、キキクル(危険度分布)の「非常に危険(うす紫)」が出現したとき等に通知します。通知を受信したときには、市町村からの避難情報を確認するとともに、避難情報が発令していなくても、どこで危険度が高まっているかをキキクル(危険度分布)の地図や河川の水位情報等で確認することで、自主的な避難の判断に活用いただけます。



* 次のリンク先の5つの事業者が実施しています。
 (https://www.jma.go.jp/jma/kishou/knownow/bosai/ame_push.html)

《出典：気象庁ガイドブック 2022》